

**平成30年度進行管理・評価シート**  
**桐生市歴史的風致維持向上計画（平成30年1月23日認定）**

**口進捗評価シート(様式1)**

①組織体制(様式1-1)		
1 計画の推進体制	.....	1
②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)		
1 都市計画に関する施策	.....	2
2 景観計画による景観誘導等	.....	3
③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)		
1 伝統的建造物公開活用事業	.....	4
2 歴史的風致形成建造物保存整備事業	.....	5
3 伝統的建造物保存修理事業	.....	6
4 伝統的建築物保存技術継承支援事業	.....	7
5 本町通り整備事業	.....	8
6 景観阻害物調査改善事業	.....	9
7 伝統産業周知啓発事業	.....	10
8 伝統産業保護育成事業	.....	11
9 地場産業振興事業	.....	12
10 織物体験事業	.....	13
11 祇園屋台・鉾伝承活用事業	.....	14
12 無形民俗文化財伝承支援事業	.....	15
13 歴史まちづくり推進啓発事業	.....	16
14 「桐生を好きな子供」を育てる事業	.....	17
15 歴史文化基本構想等策定事業	.....	18
16 歴史文化資料公開事業	.....	19
17 文化財案内標識整備事業	.....	20
18 観光案内等情報提供事業	.....	21
④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)		
1 文化財の保存又は活用の現況について	.....	22
2 文化財の修理に関する取組み	.....	23
3 文化財の防災に関する取組み	.....	24
4 文化財の普及・啓発に関する取組み	.....	25
⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)	.....	26
⑥その他(効果等)(様式1-6)		
1 “織都桐生”案内人の会について	.....	27
<b>口法定協議会等におけるコメントシート(様式2)</b>	.....	28

評価軸①-1  
組織体制

項目	評価対象年度	平成30年度
計画の推進体制		現在の状況 <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容 歴史的風致維持及び向上を推進のために、関係各課課長で組織する「歴史的風致維持向上計画庁内推進委員会」を引き続き設置し、担当部局との連絡調整や実施状況の管理と評価を行う。また、国・県との関係機関との協議を行うと共に、「桐生市歴史まちづくり推進協議会」において、事業の進捗状況や計画変更等にかかる協議を行う。必要に応じて都市計画審議会や文化財調査委員会、市民団体などと連携を図る。

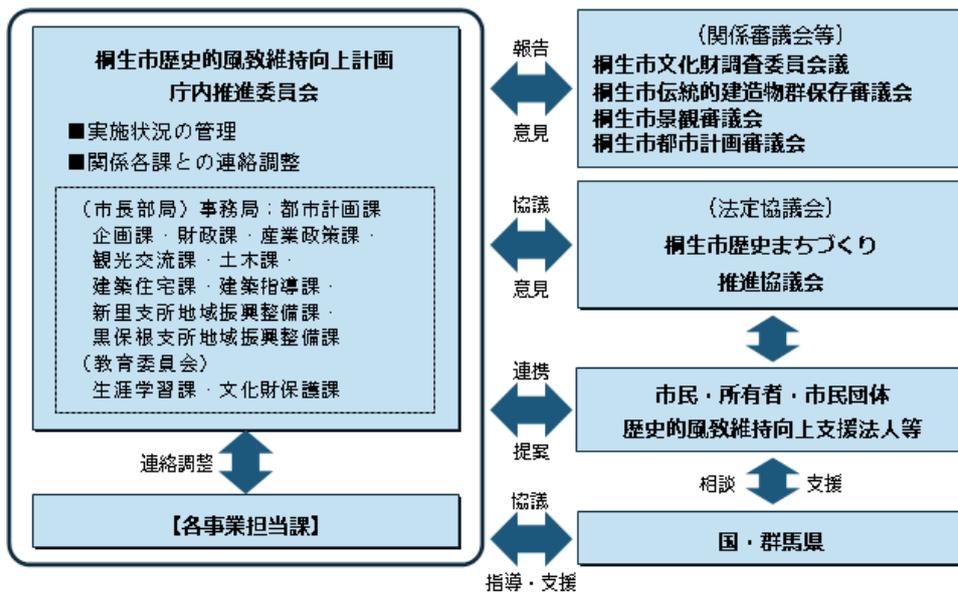
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

年度内事業進捗状況の報告、歴史的風致形成建造物指定に係る意見聴取を図るため、平成30年10月23日、平成31年3月27日に「歴史的風致維持向上計画庁内推進委員会」を実施、また平成30年11月6日に法定協議会である「桐生市歴史まちづくり推進協議会」を開催した。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

○計画の推進体制



- 第8回歴史的風致維持向上計画庁内推進委員会 (平成30年10月23日(火)開催)
- ・桐生市歴史的風致維持向上計画における事業について

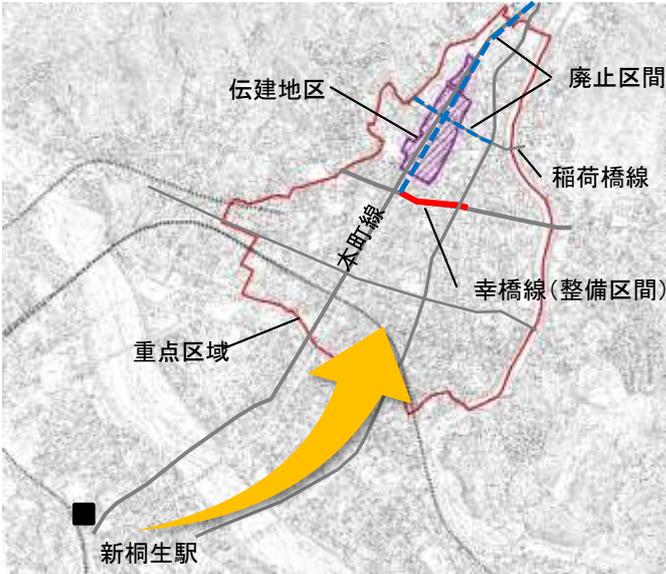


庁内推進委員会の様子

- 第9回桐生市歴史まちづくり推進協議会 (平成30年11月6日(火)開催)
- ・桐生市歴史的風致維持向上計画における事業について
- ・歴史的風致形成建造物の指定について



協議会の様子

評価軸②-1 重点区域における良好な景観を形成する施策		評価対象年度	平成30年度
項目		現在の状況	
都市計画に関する施策		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
計画に記載している内容	・重点区域は、桐生都市計画区域の市街化区域内で、桐生地区の中心市街地に位置している。重点区域の中心には、本町通りを中心に形成された桐生新町伝建地区が都市計画決定されていることから、中心市街地としての都市機能の集積と歴史的な町並みの保全との両立を図るとしている。 ・都市計画マスタープランにおける目標の1つとして「歴史・文化資産を活かした魅力的なまちの形成」を掲げ、「拠点」「都市軸」などの構成要素を基本に歴史・文化資産を活かした魅力的なまちの形成を推進するとしている。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
・平成23年度に伝建地区の町並みや地割を保存するため同地区内の都市計画道路(本町線・稲荷橋線の一部)を廃止し、伝建地区の通過交通の抑制を図りつつ円滑な交通網の構築を図るため幸橋線の現道拡幅整備を進めた。 H30末進捗率98.6%(用地買収・物件補償) ・桐生市の玄関口である新桐生駅について、首都圏等からの観光需要を見据え、重点区域を含むまちなかへの円滑な誘導と交流人口の拡大による地域活性化を図るため、交通結節点としての機能強化と良好な景観形成による駅前広場整備を進めている。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
 <p style="text-align: center;">位置図</p>		 <p style="text-align: center;">現在の幸橋線</p>	
 <p style="text-align: center;">現在の新桐生駅前</p>		 <p style="text-align: center;">新桐生駅前広場パース図(イメージ)</p>	

評価軸②-2 重点区域における良好な景観を形成する施策		評価対象年度	平成30年度
項目		現在の状況	
景観計画による景観誘導等		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
計画に記載している内容	桐生市景観計画における良好な景観の形成に関する方針では、地域の特徴や個性を生かした景観形成を図るため、市域全域を6つのゾーンに分け、ゾーンごとの景観形成誘導基準や色彩基準を設けている。重点区域にも含まれている「歴史景観」ゾーンでは、他ゾーンより厳しい色彩基準を設けるなど歴史的資源が周辺景観と調和が図られるように誘導し、より魅力的な景観の形成と保全を推進する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
・平成28年に制定した「桐生市景観計画」に基づき、良好な景観形成のための規制誘導を実施した。市域全域を景観計画区域とし、対象となる規模の建築行為等について届出を課し、色彩基準や意匠等について助言指導を行い景観誘導を図った。届出件数:50件(平成31年1月末現在)うち、重点区域内 2件・歴史景観ゾーン内 0件 ・多くの人に景観を意識し、考えていただく機会とするため景観講演会を開催 ・高校生への「景観まちづくり」についての出前講座を実施			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> </div> <div style="width: 50%;"> <p>景観講演会                              「桐生の審美的な位相に関する考察」                              (講師 桐生市芸術大使 山口晃氏)                              日時:平成31年3月16日14:00～                              場所:市民ホール                              参加者:約420名</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> </div> <div style="width: 50%;"> <p>出前講座「景観まちづくり」                              日時:平成31年10月26日 (2回)                              場所:群馬県立桐生高等学校にて                              人数:計160名</p> </div> </div>			

評価軸③-1 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	平成30年度
項目		現在の状況	
伝統的建造物公開活用事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間 平成28年度～令和8年度			
支援事業名 伝統的建造物群基盤強化事業・群馬県文化財保存事業・市単独事業			
計画に記載している内容	地域の歴史や伝統産業に関する資料展示等を行い、当地区の歴史的な価値について理解を深めるために、補助金を活用して桐生新町伝建地区にある伝統的建造物を取得し、活用を図る。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
・建物に隣接する土地(1,249.3㎡)を取得 ・建物の修理検討を行うため現況調査を実施(現況図の作成や損傷状況を把握)			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない		<input type="checkbox"/> 今後の事業予定 ・保存活用計画の作成、建物修理基本設計、実施設計(2019年度～2021年度) ・建物修理工事(2022年度～2023年度)	
状況を示す写真や資料等			
<p>●整備対象建物</p>  <p style="text-align: center;">旧真尾邸</p>		<p>桐生新町重要伝統的建造物群保存地区</p> 	
<p>●取得した土地の状況</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>本町通り側</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>敷地内側</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>敷地裏側</p> </div> </div>			
<p>●建物現況調査の状況</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  </div> <div style="text-align: center;">  </div> </div>			

評価軸③-2

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成30年度 現在の状況
歴史的風致形成建造物保存整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成30年度～令和8年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 地域の歴史的風致を形成しており、歴史的風致の維持及び向上のため、その保全を図る必要が認められる建造物を歴史的風致形成建造物として指定し、建造物の価値を高め、所有者の意識付けや観光資源としての活用を図る。また、歴史的風致形成建造物に指定した建造物の外観の保全に係る修理・修景に対して支援する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

計画書記載の歴史的風致形成建造物候補18件のうち、下記の3件の建造物について指定を行った(11月18日指定式を実施)。また、今後、国の交付金(街並み環境整備事業)の活用を図りながらの修理を見込んでいることから、補助金交付要綱の検討を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	補助金交付要綱の策定にあたり、歴史的建造物の修理と、建築基準法との整合について、整理や検討を行う

状況を示す写真や資料等



第1号 桐生織物記念館



第3号 桐生市近代化遺産網燃記念館



第2号 群馬大学工学部同窓記念会館



歴史的風致形成建造物指定式  
(H30.11.18)

評価軸③-3

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成30年度 現在の状況
伝統的建造物保存修理事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成25年度～令和8年度

支援事業名 伝統的建造物群基盤強化事業・群馬県文化財保存事業・市単独事業

計画に記載している内容 桐生新町伝建地区内の特定物件の保存修理を実施する事業者に対し、修理に掛かる経費に対し補助金を交付する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

桐生新町伝建地区内の特定物件2件に対し、補助金を交付し、保存修理事業を実施し、歴史的建造物の保全を図った。

①買場長屋 ②旧前原邸

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

- ・保存修理事業(補助制度)の主旨について、事業者(建物所有者)の理解を深めることが必要
- ・保存修理を行なう技術者の確保(養成)が必要

状況を示す写真や資料等

●保存修理事業の状況

【①買場長屋】



修理前



修理中

【②旧前原邸】



修理前



修理後

桐生新町重要伝統的建造物群保存地区



事業箇所位置図

評価軸③-4  
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	平成30年度 現在の状況
伝統的建築物保存技術継承支援事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間 平成29年度～令和8年度			
支援事業名 市単独事業			
計画に記載している内容	歴史的建造物の保存・活用の促進に向けて、伝統工法や技術を継承するための専門家を育成する団体等の支援を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
伝建地区の保存整備に関わる知識や技術の取得を目的とした任意団体「桐生伝建修習の会」における研修活動と併せ、地区住民にも活動内容を知ってもらうため、活動成果発表会を開催した。 ・発表会開催日 平成30年6月17日(日)			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	今後の活動(研修)内容の検討や新規会員(若い技術者)の入会について		
状況を示す写真や資料等			

●活動成果発表会の状況



●研修会の状況



評価軸③-5  
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	平成30年度 現在の状況
本町通り整備事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間 平成25年度～令和5年度			
支援事業名 防災・安全交付金(道路事業)			
計画に記載している内容	桐生新町伝建地区内の本町通りを、歴史的な町並みとの調和を図るために、電線類地中化と歩道整備を行っている、舗装等の美装化を実施する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
・電線地中化の際、支障となる水道本管の移設工事を実施 ・本町通りの西側歩道下の水路遺構について、電線地中化に伴い抵触する箇所について発掘調査し記録保存を実施			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	防犯灯等道路施設の整備など地元との調整が必要		
状況を示す写真や資料等			

●水道管移設工事の状況



桐生新町重要伝統的建造物群保存地区



●水路遺構調査の状況



調査の様子



水路遺構(石積)の状況

評価軸③-6

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成30年度 現在の状況
景観阻害物調査改善事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成29年度～令和8年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 桐生市景観計画を策定し、群馬県から屋外広告物条例を移譲されたことから、景観を阻害している建築物や屋外広告物の改善に向けて現状調査し、実態を把握したうえで指導や相談を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

・屋外広告物改善対象路線において、基準に不適合なものや未手続きのもの等、改善対象広告物に対して、改善要請を文書にて行い、景観を阻害する屋外広告物の改善に努めた。(指導件数33件)  
 ・地元商店街や広告関係者等を集め「群馬県屋外広告物タウンミーティング」を開催し、伝建地区を含めたフィールドワークやワークショップを実施し、屋外広告物の活用方法や安全管理について意見交換を行った。(平成30年11月14日有鄰館38名参加)

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



指導前



指導後



屋外広告物タウンミーティング

評価軸③-7  
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成30年度 現在の状況
伝統産業周知啓発事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成24年度～令和8年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 織物にゆかりの深い建物を活用して織物産業関連資料を展示し、織物に関する歴史や技法の理解を深める機会を創出する。また、伝統産業における各工程や技法を、ホームページや動画等、各メディアを活用しながら、情報発信を行うとともに、見学や体験イベントなどを通して、周知啓発を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

織物を中心とした郷土資料展示を桐生織物記念館において継続実施し、企画展示を3回実施した。うち、桐生織の技術を知ってもらうため、「桐生織伝統工芸士の技」展も実施した。また、市のホームページには、桐生織物の製造工程の詳細や動画を継続掲載した。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



企画展の様子



桐生織伝統工芸士の技展



市のホームページには工程の動画も

評価軸③-8 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	平成30年度
項目		現在の状況	
伝統産業保護育成事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間 昭和39年度～令和8年度			
支援事業名 市単独事業			
計画に記載している内容 本市の伝統産業である繊維産業は、生活様式の変化等による需要の変化への対応や技術の継承が課題になっているため、新商品の開発や新たな販路の開拓により、経営体質強化を図る。また、桐生織物に携わる職人の高齢化や新規就労者も少ないことから、伝統技術の継承や後継者を育成する環境を整えることで、伝統産業を保護・育成を図る。			
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
桐生織物の新製品開発や宣伝、展示発表等各事業に係る経費に対して桐生織物協同組合や桐生刺繍商工業協同組合に対し補助を行った。補助金名称:需要開拓事業補助金(桐生織物新製品開発)(桐生織物宣伝)(国内婦人服地新製品開発)(刺繍展)			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
			
桐生織物織姫展		桐生織物織姫展	
			
桐生テキスタイルコレクション		新製品開発事業発表会チラシ	

評価軸③-9  
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成30年度 現在の状況
地場産業振興事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 昭和62年度～令和8年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 繊維産業などの地場産業の振興・育成・発展を目的に公益財団法人桐生地域地場産業振興センターに対する運営経費の補助とともに、商品開発、情報収集提供事業補助、人材育成等支援事業補助を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

運営費の補助を行うと共に、桐生産地における繊維産業の展示事業(桐生テキスタイルプロモーションショー)や情報収集提供(専門家を招いたトレンドセミナー11/20)、後継者育成を目的とした繊維大学(H30.9～H31.2)など各事業に対して補助を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



2019桐生テキスタイルプロモーションショー  
「Every day is a new day」  
日時:平成31年3月6日・7日  
場所:テピアエキシビジョンホール(東京都港区北青山)  
出展:テキスタイル部門26社、和装部門8社



案内ハガキ



繊維大学

評価軸③-10 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成30年度 現在の状況
織物体験事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成26年度～令和8年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 「桐生織 伝統工芸士」及び桐生織物協同組合事務局職員が学校へ出向き、学年単位で織物の仕組みや織物製品、伝統工芸品の特性、技法、原材料についての講話を行う。また、児童一人一人が実際に織機を使い、その仕組みを学びながら、織物製品を手織りで製作する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

・市内全小学校の3年生または4年生に対し、桐生織物の歴史や絹織物の仕組み、特性、技法、原材料などについての学習と手織り体験を実施した。講師は、桐生織を知り尽くした桐生織伝統工芸士が担当した。各学校に手織り用の織機を搬入して手織り体験を行ったり、絹織物の7つの技法を使った製品を持ち込み観察したりすることで、桐生織について実際に製品や織機に触れて学んだ。(市内17校 約770名)  
 ・市内の中学校特別支援学級に所属する生徒が工房「風花」に集まり、1年に2回、回転整形式手織機「フラミンゴ」を使用し、手織り体験を行い、一人1作品のコスターなどを制作した。(生徒のべ約60名)

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



手織り体験をしている児童



手織機を真剣に見つめる児童



桐生織をじっくり観察する児童

実践報告書より:

- ・桐生織の表面を拡大鏡で実際に観察して、その織の細やかさに驚くとともに、その素晴らしさを実感していた
- ・「桐生は日本の機どころ」ということは知っていても、機や織物についての知識は乏しい子供たちにとって、活躍中の伝統工芸士の方に、直接話をさせていただいたり、手織りの体験をさせていただいたりすることで、自分たちの住む町がもつ良さに気づききっかけとなった。
- ・織物の種類を体育館壁面に展示していただいたおかげで、多種類あることを実感することができた。布をルーペで見たとき、織り方の違いに興味津々な様子で観察し、絹とポリエステルの違いも手触りで感じる事ができた。
- ・手織り体験はとても楽しかったようで桐生の伝統を肌で感じ大切にしていこうとする意欲が向上したものと考えた。

児童・生徒の感想より:

- ・桐生織は、戦国武将も使っていたと知って、すごいなと思いました。
- ・下の板をふむと、ひもがパネルを引っ張って糸を持ち上げて、糸が2つに分かれたところに横糸を通して、くしみたいのを2回引っ張って織る仕組みがすごいと思いました。
- ・おり物には、いろいろなおり方のくふうがありました。ちがうおり方があるやわらかくじょうぶにするおり方は、「平おり」だと分かりました。
- ・機織りがとても楽しかった。始めはむずかしかったけど少しずつ上達するのがうれしかった。
- ・将来、織物の仕事をやってみたいと思った。

評価軸③-11 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成30年度 現在の状況
祇園屋台・鉦伝承活用事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成26年度～令和8年度

支援事業名 文化遺産総合活用推進事業・市単独事業

計画に記載している内容 江戸文化を色濃く残した桐生祇園祭において、本町各町会で所有している祇園屋台と鉦の損傷している部分を修理したうえで、文化財指定や常設展示を含めた公開方法について検討する。また、桐生祇園祭の次世代の後継者を育成するために、子供たちを対象としたお囃子の講習会や桐生祇園祭の歴史・風習を学ぶ講座を開催する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- 祇園屋台等の修理及び一般公開
  - ・本町4丁目屋台の提灯の修理を行い祭礼当日に一般公開した
- 祇園囃子継承者の育成
  - ・後継者育成のため練習会(6回実施) 及び発表会を開催した(平成31年1月26日(日))

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

・祇園屋台の組み上げ修理ができる技術者の育成  
 ・祇園囃子の演奏者の育成と合わせ、指導者の育成も必要

状況を示す写真や資料等

●本町四丁目屋台 屋台提灯の修理状況

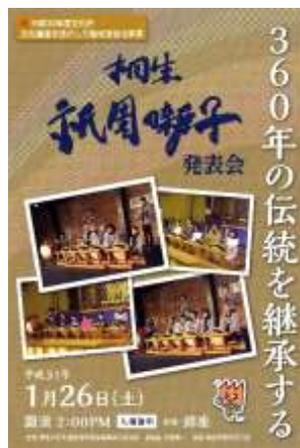


修理後の祇園祭での活用状況

●祇園囃子の練習会・発表会の状況



練習生募集チラシ



練習会開催チラシ



練習会の様子

評価軸③-12 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	平成30年度
項目		現在の状況	
無形民俗文化財伝承支援事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間 平成29年度～令和8年度			
支援事業名 市単独事業			
計画に記載している内容	市指定の文化財を対象に、老朽化により保存や更新が難しくなっている祭礼・行事で使用する用具等の更新支援や修理のための情報提供を行う。また、資金不足や後継者不足により、記録化が図られていない祭礼・行事について、調査・研究を進めて記録化の支援を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
・平成30年度においては、無形民俗文化財に係る用具等の更新や修理等についての相談はなかったが、今後、相談等の申し出があれば、修理方法や補助等の支援も含め情報を提供していく。 ・指定・登録に該当するような文化財があれば、事前に調査等も行い、記録保存も行っている。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	補助等については予算に限りがあるので難しいところもあるが、更新や修理方法等の情報提供や、祭礼・行事の記録保存については引き続き行っていく。		
状況を示す写真や資料等			

評価軸③-13 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成30年度 現在の状況
歴史まちづくり推進啓発事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成29年度～令和8年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 本市の歴史文化資産や歴史まちづくりに関連するシンポジウム・講演会・バスツアー等を開催する。また、歴史的風致維持向上支援法人の設立を視野に、歴史まちづくりに関連する事業について、本市との適正な役割分担のもとで事業を遂行できるまちづくり団体等の設立を支援する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

・桐生の歴史とそのゆかりの地を会場とした歴史まちづくり講演会を計3回開催し、各回ごとに市の歴史まちづくりについての取組み報告を行った。(のべ150名参加)  
 ・11月18日には、市民が興味関心を持ってもらう機会として、歴史まちづくりシンポジウムを実施し、歴史まちづくりの必要性についての講演やパネルディスカッション、歴史的風致形成建造物の指定式などを行なった。(来場者数約120名)

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

若者への桐生の歴史等への興味関心をどのように喚起するのかが課題である

状況を示す写真や資料等



上)講演会の様子(鳳仙寺にて)  
左)講演会チラシ



上)シンポジウムの様子(群大同窓記念会館にて)  
左)シンポジウムチラシ

評価軸③-14 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成30年度 現在の状況
「桐生を好きな子供」を育てる事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成13年度～令和8年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 「桐生を好きな子供」を育てる事業における歴史や文化遺産の体験事業により、地域住民との交流等を通して桐生の歴史や伝統文化に直接触れる様々な活動体験を行い、郷土愛を育成する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

・桐生に愛着と誇りを持ち、将来にわたって桐生で活躍できる子供の育成に重点を置いた様々な取り組みを、教育委員会及び市長部局の各部署、各学校及び幼稚園において実践しそれらを報告書にまとめた。その中で桐生の歴史や文化に関連する事業は、「歴史や文化遺産の体験事業」(桐生に伝わる民話を聞こう、八木節体験、織物体験等)を68件、「史跡・歴史資料を作成」(歴史ある建物を調べ資料にまとめる)を1件、「桐生の自然や文化についての資料を作成」(自然を風景画にする、文化・環境について調べたことを学習新聞にする等)を12件実施した。  
 ・子供が、地域社会の中で心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進するため、学校の空き教室等を利用して、各地域の特色や人材を生かした体験・交流活動、学習支援等を行う「放課後子ども教室(キッズカレッジ)」を2校で開設し、うち歴史・文化に関する体験(昔遊び、まが玉作り等)を7回実施した。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

放課後子供教室(キッズカレッジ)について、設置箇所数の拡充及び桐生の歴史文化に関連したプログラムを検討する

状況を示す写真や資料等



梅田公民館 冬休みこども講座 まゆ玉作り教室



図書館 桐生に伝わる民話を聞こう

評価軸③-15

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成30年度 現在の状況
歴史文化基本構想等策定事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成26年度～令和8年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容

地域に存在する文化財を指定・未指定に関わらず幅広く捉えて、的確に把握し、文化財をその周辺環境を含めて総合的に保存・活用するための基本構想「歴史文化基本構想」策定に向けた調査を行う。また、現在の市史は、編さんされてから50年以上が経過していることから、新たな市史の編さんに向けた検討を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- ・黒保根地区内に分布する墓地、墓石、石造物等の悉皆調査を立正大学の協力の下に実施し、調査資料等の整理を行い、地元での報告会を実施した。
- ・市史の編さんについては、他市の市史編さん状況の調査、及び昨年度実施した他市への視察結果を元に、新たな市史編さんに向けた検討を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

今後も引き続き調査を行い、調査結果の整理や報告書作成等の作業が行われるが、限られた人員であるためスケジュールの管理が求められる。市史編さんにあたって、必要となる費用や期間、市史編さん室などの組織体制について検討を行う。

状況を示す写真や資料等



調査風景



調査風景



整理作業風景



調査成果報告会

評価軸③-16 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成30年度
項目		現在の状況
歴史文化資料公開事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成29年度～令和8年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 本市の歴史文化に関する資料の収集、保全を進めるとともに、希少な郷土資料やゆかりのある人物などに関する資料を公開し活用する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- ・明治館や絹襷記念館において本市の歴史文化に係る資料の常設展を行うほか、絹襷記念館の企画展として「絹襷記念館(旧桐生襷糸合資会社事務所棟)100周年記念展」や、「近代化遺産の日」記念事業として市内の近代化遺産の一斉公開、有鄰館において「近代化遺産パネル展」等を実施。
- ・図書館所蔵の特殊郷土史資料のうち、閲覧希望がありながらも、破損などにより閲覧制限がある資料の複製品作成と、その公開を実施。
- ・郷土資料調査事業の成果物として、幕末の桐生新町の世上を記録した『新居喜左衛門役用日記』(原文編)を写真版で刊行。
- ・歴史文化の多様性の普及啓発や伝建地区来訪者へのサービス拠点となっている民間施設である桐生歴史文化資料館への運営費補助を行った。また資料館で行う企画展(全3回)等の広報誌での周知を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

常設展や企画展など歴史文化に関する資料の公開については、文化財の活用を踏まえて工夫をしながら引き続き実施していく。図書館では、近世中期以降の桐生住の史家の手による諸本も所蔵しており、これらの複製を作成して公開できればと考えている。

状況を示す写真や資料等

●近代化遺産一斉公開施設の一部



桐生明治館



有鄰館



絹襷記念館



近代化遺産パネル展 (有鄰館「塩蔵」)

桐生歴史文化資料館企画展示  
 「明治150年記念 桐生の薬と薬局」  
 期間 10月2日(火)～12月9日(日) ※月曜日(10月8日を除く)、10月9日(火)休館  
 時間 午前10時～午後4時  
 場所・問い合わせ 桐生歴史文化資料館(本町二丁目、☎467246)

広報きりゅう(H30.10月号)

評価軸③-17  
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成30年度 現在の状況
文化財案内標識整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 昭和40年度～令和8年度

支援事業名 ぐんま絹遺産保存活用総合支援事業補助金・市単独事業

計画に記載している内容 市指定文化財等のうち、建造物や史跡などの看板設置が可能な物件について、その歴史的価値を解説した説明板を設置する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

市内周遊のため、日本遺産の構成文化財の1つである白瀧神社への案内板を設置した。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

限られた予算の中で優先順位を考慮しながら進める。

状況を示す写真や資料等

●案内板設置(日本遺産 白瀧神社)



設置前



設置後

評価軸③-18 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	平成30年度
項目		現在の状況	
観光案内等情報提供事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間 平成29年度～令和8年度			
支援事業名 地方創生推進交付金・市単独事業			
計画に記載している内容	桐生新町伝建地区等に訪れた観光客が歴史や文化を学びながら観光活動を楽しむ環境を整えていくために、行政、観光関係者、民間事業者、NPO法人、地域の住民などが連携して観光情報等を提供する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
・桐生新町伝建地区や織物工場などの産業観光を、本市の観光振興の中核ととらえ、桐生新町伝建地区内を中心にガイドを行う「織都桐生」案内人の会」を桐生観光協会と協働で整備し、積極的な利用促進を行っている。 ・また、国の地方創生推進交付金を活用し、低速電動コミュニティバス(MAYU)の新桐生駅を発着駅とした日本遺産周遊コースの設定、桐生市及び足利市の周遊観光促進パンフレット多言語版の作製、国内外からモデルや有名なブロガー等を招請しSNSなどを活用して世界に情報発信を行うファミトリップ事業、PR動画の製作・発信などを実施した。(ヘリテージツーリズムの推進) ・桐生新町伝建地区へのさらなる誘客や、まちなかの活性化を図るため、中心市街地内にある群馬銀行桐生支店の改装に合わせ、店舗施設を活用しての市政情報も含めた観光案内施設の整備の検討を行った。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>“織都桐生”案内人の会によるガイド</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>低速電動コミュニティバス『MAYU』</p> </div> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;">  <p>SNS等の情報発信を活用したファミトリップ事業</p> </div>			

評価軸④-1 文化財の保存又は活用に関する事項		評価対象年度	平成30年度
項目		現在の状況	
文化財の保存又は活用の現況について		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
計画に記載している内容	適正な保存を図るため、本市では全ての指定等された文化財を対象に現状確認調査及び所有者・管理者への聞き取りを実施し、群馬県においては指定・登録文化財、重要な埋蔵文化財包蔵地に対して群馬県文化財保護指導委員による「文化財パトロール」を実施している。今後は、これまで実施してきた保存・管理に係る事業を継続するとともに、保存活用計画及び「桐生市歴史文化基本構想」の策定を進め、適正な保存活用を図る。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
・国・県・市の指定文化財の現状確認調査や聞き取りを行うほか、管理者あての通知により指導、確認等を行った。 また、県が委託する群馬県文化財保護指導委員による文化財のパトロールと連携し、文化財の現況確認を行った。 ・明治館や絹織記念館は有料の観覧施設であり館内で企画展などを開催しており、有鄰館では絵画や写真などの作品展や文化活動などの発表の場とするなど様々なイベントを開催し適切に活用している。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	子ども向けの企画やイベントなどを検討していく。		
状況を示す写真や資料等			
<p>●文化財活用(有鄰館)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>桐生市有鄰館芸術祭</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>芸術祭作品展</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;">  <p>絵画個展</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>有鄰館まつり</p> </div> </div>			

評価軸④-2

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	平成30年度 現在の状況
文化財の修理に関する取組み		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容  
 保存修理工事など保存に伴う経費については、指定・登録文化財ともにそれぞれの補助金交付要綱に基づく支援措置を図り、目的や状況によっては、地域活性化や観光振興の補助事業を活用することにより保護を図る。また、重点区域内の建造物については、文化財保護法令における指定や登録のほかに景観法による景観重要建造物、景観重要樹木の指定や歴史的風致形成建造物の指定による景観の保全等、その保護を図る。重伝建地区においてはこれまで実施してきた伝統的建造物保存修理、防災対策事業等による文化財の維持管理とともに本町通り整備事業などによる地区内の景観形成を進める。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

重伝建地区における特定物件の保存修理(6頁参照)のほか、登録有形文化財である旧金谷家住宅の保存修理事業として、公益財団法人東日本鉄道文化財団からの補助を受けて旧金谷家住宅主屋及び金谷レース工業株式会社事務所棟の屋根等の修理を実施した。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	指定及び登録文化財の原状把握とともに様々な補助金の活用を検討していきたい。

状況を示す写真や資料等

●旧金谷家住宅保存修理事業の修理箇所



評価軸④-3

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	平成30年度 現在の状況
文化財の防災に関する取組み		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

所有者に対しては防災意識の向上を図るため訪問時に防災の呼びかけを行っている。毎年「文化財防火デー」にあわせて、文化財建造物や指定文化財を保管している建造物を対象に桐生市消防本部や消防団と連携して文化財消防訓練を実施し、近隣の住民にも参加を呼びかけ、啓発を強化している。また、桐生明治館や桐生市有鄰館、彦部家住宅においては公開施設であるため独自に消防訓練を実施、桐生新町伝建地区においては「桐生市桐生新町伝統的建造物群保存地区防災計画」を策定し、地域住民参加による防災避難訓練を行っており、今後も継続して進めていく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

○伝建地区では、火災時の被害の拡大を防ぐため、防災計画に基づき平成29年度に設置した無線連動型住宅用火災警報器について、地元町会と連携し作動試験を行うなど、早期発見、通報できる体制づくりに努めた。

・警報器を設置した建物数 240棟

○また、「文化財防火デー」に合わせて文化財防火訓練を実施しており、今回は「有鄰館」で実施した。また、国の重要文化財である彦部家住宅や明治館についても消火設備の点検も兼ねて訓練を実施した。その他公共施設である有鄰館や絹襷記念館でも消防通報から避難誘導、初期消火などの防災訓練を独自に行った。

○防犯については、指定文化財等の現況確認調査や聞き取りを行う中で管理者に注意喚起を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	・火災なども含め、地域の災害時に対する体制の強化が必要。 ・各施設で作成している危機管理マニュアルを毎年見直し、防災訓練を毎年実施する。

状況を示す写真や資料等

●無線連動型住宅用火災警報器の設置状況

[設置した警報器の内訳]

- ・火災警報機(煙式) 765器
- ・連絡用警報器 353器
- ・連絡用警報器取付け版 187枚



連絡用警報器と連絡用警報器取付け版



文化財防火訓練の様子(有鄰館)

評価軸④-4

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	平成30年度 現在の状況
文化財の普及・啓発に関する取組み		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

文化財の保護に対する正しい理解と意識向上を図るため、文化財の公開に努め、各種事業の実施、情報の発信を積極的に行う。「近代化遺産一斉公開」やスタンプラリーの開催、「文化財めぐり」、所管施設の無料公開といった子どもから大人まで幅広い世代が文化財に触れる機会を創出する。講座事業としては「出前講座」を開催し、文化財の知識と歴史的背景を伝える事業を継続して実施する。さらに、出前講座や歴史まちづくり講演会などの講座事業とともに見学会など各種イベント事業を開催することにより、文化財について幅広い知識を得ることのできるよう取り組む。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

・毎年10月20日の「近代化遺産の日」記念事業として全国的に近代化遺産一斉公開を行っており、本市においても桐生明治館をはじめ13箇所で一斉公開を実施した。また、企画事業として有鄰館において「近代化遺産パネル展」を開催した。  
 ・講座事業については、公民館の各種団体や高等学校からの要望により、市の文化財を広く紹介するなど「出前講座」として実施した。また、歴史まちづくり講演会として、歴史まちづくりの取組み周知を含め、内容と場所も異なる計3回の講演会を開催した。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
----------------	--------------------------

<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	子どもから大人まで幅広い対象として、文化財の公開や文化財を紹介するイベントなどを検討していきたい。
--	---

状況を示す写真や資料等

●近代化遺産の日記念事業



文化財めぐり(桐生倶楽部)



文化財めぐり(明治館)



文化財めぐり(明治館)



文化財めぐり(水道山記念館)



近代化遺産パネル展(有鄰館)



近代化遺産パネル展(有鄰館)

評価軸⑤-1 効果・影響等に関する報道		評価対象年度	平成30年度
報道等タイトル	年月日	掲載紙等	
銚子の曳き違い披露へ 桐生祇園祭祭典委員会議で意向	平成30年5月25日	桐生タイムス	
桐生伝建修習の会 3年目の活動成果発表会 伝建の修復など考える	平成30年6月18日	桐生タイムス	
世話方が「衣裳合わせ」桐生祇園祭準備進む	平成30年6月21日	桐生タイムス	
歴史遺産 カードに	平成30年8月14日	上毛新聞 ほか各紙	
歴史まちづくりカードの配布(TV放映)	平成30年8月23日	NHKほっとぐんま640	
織都の歴史 伝え残す 重伝建の焼失長屋 修復開始	平成30年8月28日	上毛新聞	
「生糸貿易」ひもとく 新里で歴史まちづくり講演会	平成30年8月29日	桐生タイムス	
由良成繁・国繁を語る	平成30年10月1日	桐生タイムス	
涌丸・前田原で7日に獅子舞奉納	平成30年10月2日	桐生タイムス	
お囃子やりませんか？14日から本四で練習会	平成30年10月11日	桐生タイムス	
桐生ブランド発信を 歴史まちづくりで議論	平成30年11月19日	上毛新聞	
歴史的風致形成建造物 3件を初指定	平成30年11月19日	桐生タイムス	
招福の季節 えびす講開幕	平成30年11月19日	桐生タイムス	
福を求めて えびす講に人の波	平成30年11月20日	桐生タイムス	
桐生祇園祭 文化財指定目指して	平成30年12月7日	桐生タイムス	
1年の幸福を祈って 観音院で「初地蔵」	平成31年1月24日	桐生タイムス	
広沢小で締めくり 全17校対象の織物体験事業	平成31年1月24日	桐生タイムス	
練習生、新曲も披露 祇園囃子継承事業の成果発表	平成31年2月9日	桐生タイムス	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
桐生市歴史的風致維持向上計画が認定されて以降、歴史的風致に位置付けた祇園祭やえびす講など各々取り上げられており、歴まちカードのテレビ放映を含めた報道もあり、市内外へのアピールと桐生の歴史まちづくりへの関心が高まった。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input type="checkbox"/> 計画の進捗に影響あり <input checked="" type="checkbox"/> 計画の進捗に影響なし		今後も引き続き、歴史まちづくりへの関心や理解を高めるため各メディアへの情報提供や情報発信に努める。	
状況を示す写真や資料等			
 <p>平成30年6月21日 桐生タイムス</p>		 <p>平成30年8月14日 上毛新聞</p>	
 <p>平成30年10月1日 桐生タイムス</p>		 <p>平成30年11月19日 桐生タイムス</p>	
		 <p>平成30年8月23日 NHK取材</p>	
		 <p>平成31年2月9日 桐生タイムス</p>	

評価対象年度 平成30年度

項目

“織都桐生”案内人の会について

計画に記載している内容 歴史や伝統文化の調査研究と情報発信に関する課題の一つとして、観光ガイドについては、桐生観光協会が運営する「織都桐生」案内人の会が観光案内を行っているが、更なる人材の確保と充実を挙げている。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

桐生の観光ガイド組織である「織都桐生」案内人の会が、自主企画ツアー「案内人と桐生散歩」を3回開催した。第1回は、年に一度特別公開される青蓮寺の秘仏、桐生天満宮の彫刻などを見学、第2回は市内にある日本遺産の見学と桐生三大市を歩き、第3回は金運スポットを中心とした体験型ツアーで織物工房などを訪問した。いずれも、歴史的なスポットを中心としたツアーを実施し、毎回好評を得ている。ガイドの登録者数は、51人となっている。(平成31年1月末現在)

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画の進捗に影響あり

計画の進捗に影響なし

状況を示す写真や資料等



案内人と桐生散歩の様子



**桐生風土記  
新春♡金運ツアー**  
～“織都桐生”案内人と桐生散歩～

このたびは“織都桐生”案内人の会の自主企画ツアー第3弾として、金運スポットを中心とした体験型ツアーを企画いたしました。  
内容は下記のとおりとなります。みなさまの参加をお待ちしております。

- 織物のお産物・桐生で餅を成した人々の、江戸から昭和にわたる著名、穴場のスポットを巡ります。
- 群馬県オリジナルの織・でんま裏書をにつかり、伝統的「黄金(きん)の羊」作りを体験してお土産とします。
- 金運の恵比寿様・弁財天、数福のお稲荷様、そして「スポットなど見所もいっぱい」です。

〇主催 桐生観光協会  
“織都桐生”案内人の会

〇日時 平成31年3月9日(土)  
午前10時から正午  
雨天決行、荒天中止

〇参加場所 有願館

〇コース 有願館(出発) → 恵比寿天 → 天然染色研究所 → 数福稲荷 → 工務 福民(解散)

〇参加人数 先着30名

〇参加費 500円(保険料等)

〇駐車場 桐生市観光バス駐車場  
(桐生市神宮1-2-2-2 豊平の宮前)

〇申込の期 平成31年3月5日(水)

〇申込方法 電話にて 桐生市観光協会 まで  
TEL: 0277-46-1111 (内線306)

案内人企画ツアーのチラシ

# 法定協議会等におけるコメント

(様式2)

評価対象年度	平成30年度
・法定協議会等におけるコメント	
コメントが出された会議等の名称： 第10回桐生市歴史まちづくり推進協議会	
会議等の開催日時：平成31年4月23日	
(コメントの概要)	
<ul style="list-style-type: none"><li>・伝統的建築物保存技術継承支援事業に関し、保存整備に関わる知識や技術の取得を目的とした任意団体「桐生伝建修習の会」の活動については、物件が見つからないと実践的なことがしにくい点や若い人を見つける難しさもあるが、この会は、職人、行政、建築士が入って、全国でもとてもユニークな活動であるので、これからも発展して欲しい。</li><li>・織物体験事業については、織物を織る体験だけではなく、和裁の現場を見学するなり、最終の製品になるまで仕上げる工程も加わると織物の実際が学習できるのではないかと。</li><li>・文化財等指定外の古い建造物を修理すると、固定資産税の評価はどうなるのか。法的には何も無いと思うが、保存していこうとする人にとってその点が気になるのではないだろうか。</li><li>・関係部署との連携、地元との連携を大事にしながら進めること。</li></ul>	
(今後の対応方針)	
<ul style="list-style-type: none"><li>・本評価を各事業の見直しの機会と捉え、協議会での意見を踏まえ、庁内での調整を図り各事業を推進していく</li><li>・いずれも、関係団体、所有者、その他関係者と連携を取りながら、事業の展開を図っていく</li></ul>	